



学校だより

令和4年度 第1号
発行日 4月11日
練馬区立大泉第二中学校
校長 関 基 雄

新年度を迎えて

校長 関 基 雄

先週の木曜日入学式があり、180名の新入生が入ってきました。いよいよ全校生徒そろって令和4年度が出発しました。がんばっていきましょう。

今年も立派な新入生誓いの言葉が読まれました（もちろん歓迎の言葉もとても立派でした）が、感染対策のため上級生の皆さんに聞いてもらうことができませんでした。そこで紙面にて紹介をしていきます。

「多くの希望であふれる明るい春が訪れ私たちは大泉第二中学校の入学式を迎えることになりました。見慣れた小学校の校舎に別れを告げ、新しい生活への希望を胸に今この場に立っています。私は中学校で、何事にも全力で取り組みたいと思っています。小学校とは違い、中学校では1つの教科ごとに先生が変わると聞きました。教科の1つ1つをより詳しく掘り下げながら勉強できることが今からとても楽しみです。得意教科の理科、社会はもちろん、美術や技術家庭科などの新しく加わる教科も、一生懸命励みたいと思います。

また、部活動も勉強と両立し、全力で取り組んでいきます。私は幼少期からいくつかの楽器を習い、音楽に親しんできました。そのことを活かせるよう、吹奏楽部に入りたいと思っています。入部できた暁には練習を重ね、部員の皆さんと協力してよい演奏を創っていきます。そして、今まで続けてきた一人の演奏ではなくみんなで音楽を奏でる楽しさを見つけていきたいです。

私の小学校では新型コロナウイルス感染症の影響で移動教室が第6学年のみ実施となり、1泊2日に短縮されました。そのため、中学校の大きなイベントである修学旅行がより一層楽しみに思えます。私は日本史に大変興味があります。そのため、奈良の東大寺や京都の金閣などの貴重な文化財を見て回れる修学旅行を有意義なものにしようと呼びかけに胸をふくらませています。

中学校では、協力を必要とする場が多くあると思います。そのため、自己中心的な考えをせず、常日頃から人を思いやり、良好な人間関係を築いていきたいです。そして、クラスメイトだけでなく、上級生の皆さんにも失礼のないよう意識して生活するよう心がけます。

しかし、小学校よりも守るべき規則が多い中学校で、きちんと規則を守って生活することができるだろうかと不安な気持ちもあります。ですが、何がいけないことで、何をしなければならないのかを事前に確かめ、またわかる場所にメモを取るなどして忘れないように工夫したいです。

そして、不安や悩みがあれば一人で抱え込まずに先生や同級生、上級生に相談することを心がけ、また同級生や今後の下級生が悩んでいるときは相談に乗ってあげたいです。

この3年間を無駄にしないよう、私は一日一日をたいせつに過ごしていこうと思います。最後になりましたが校長先生をはじめとする先生方、上級生の皆さん温かいご指導をよろしくお願い申し上げます。」

感染対策などでまだ大変なことが続くと思いますが、充実した一年となるようにがんばっていきましょう。